

土地所有者アンケート調査結果（平成23年）

(1) 調査概要

調査期間： H23. 6. 27 ~ H23. 7. 15

調査対象者数： 994人

回答者数： 499人 （回答率： 50.2%）

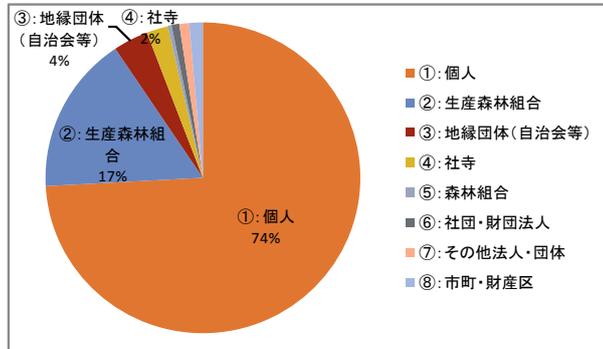
区分別の回答率：①個人：46%、②：生産森林組合：70%、③：地縁団体（自治会等）62%、④：社寺48%、⑤：森林組合：100%、

⑥：社団・財団法人：67%、⑦：その他法人・団体：50%、⑧：市町・財産区：100%

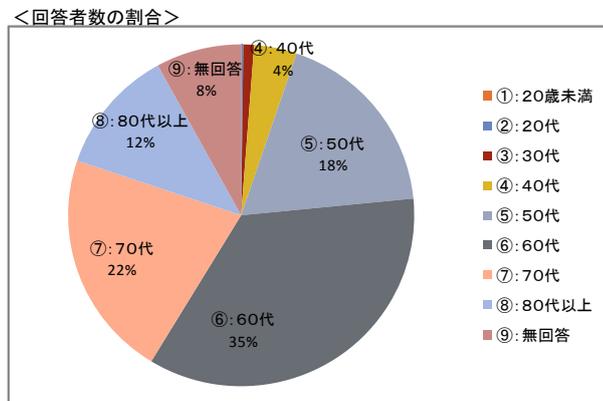
<回答者数の割合>

(2) 回答者の状況

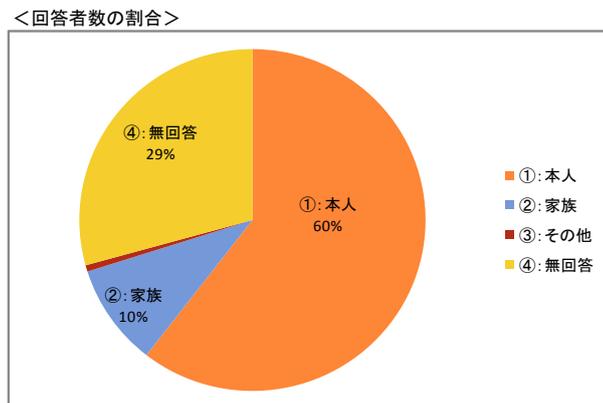
区分	回答者数	回答者数の割合
①：個人	370人	74%
②：生産森林組合	82人	16%
③：地縁団体（自治会等）	18人	4%
④：社寺	11人	2%
⑤：森林組合	2人	0%
⑥：社団・財団法人	4人	1%
⑦：その他法人・団体	5人	1%
⑧：市町・財産区	7人	1%
計	499人	100%



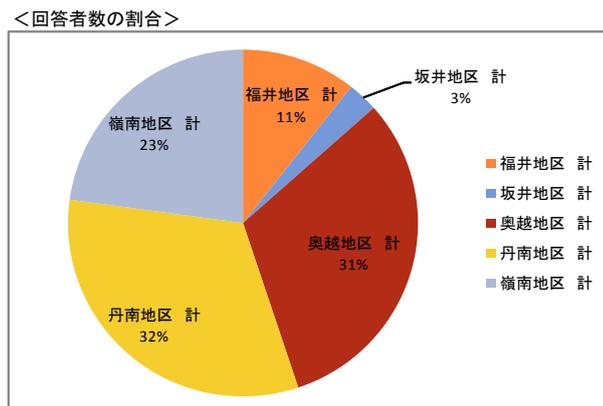
区分	回答者数	回答者数の割合
①：20歳未満	0人	0%
②：20代	1人	0%
③：30代	5人	1%
④：40代	20人	4%
⑤：50代	91人	18%
⑥：60代	176人	35%
⑦：70代	107人	21%
⑧：80代以上	59人	12%
⑨：無回答	40人	8%
計	499人	100%



区分	回答者数	回答者数の割合
①：本人	302人	61%
②：家族	48人	10%
③：その他	3人	1%
④：無回答	146人	29%
計	499人	100%



区分	回答者数	回答者数の割合
福井市	38人	8%
永平寺町	15人	3%
福井地区 計	53人	11%
あわら市	4人	1%
坂井市	10人	2%
坂井地区 計	14人	3%
大野市	96人	19%
勝山市	61人	12%
奥越地区 計	157人	31%
鯖江市	6人	1%
越前市	25人	5%
池田町	38人	8%
南越前町	52人	10%
越前町	40人	8%
丹南地区 計	161人	32%
敦賀市	8人	2%
小浜市	40人	8%
美浜町	4人	1%
高浜町	8人	2%
おおい町	34人	7%
若狭町	20人	4%
嶺南地区 計	114人	23%
計	499人	100%



(3) 調査結果

●Q1: センター林の役割について

これまでの役割は、「木材の生産」が32%と最も多かったが、今後は、「木材の生産」が半減する一方で、「地球温暖化の防止」が大幅に増え、「水を蓄える」、「土砂災害防止」などとともに、森林の多面的機能を重視する意見が多かった

【これまで】

区分	回答者数	回答者数の割合
①: 木材の生産	423人	32%
②: 水を蓄える、水をきれいにする	348人	26%
③: 土砂災害の防止、県土保全	364人	27%
④: 地球温暖化の防止	113人	9%
⑤: 野外教育、レクリエーションの場	12人	1%
⑥: 野生生物生息地、生物多様性確保	59人	4%
⑦: その他	9人	1%
計	1,328人	100%

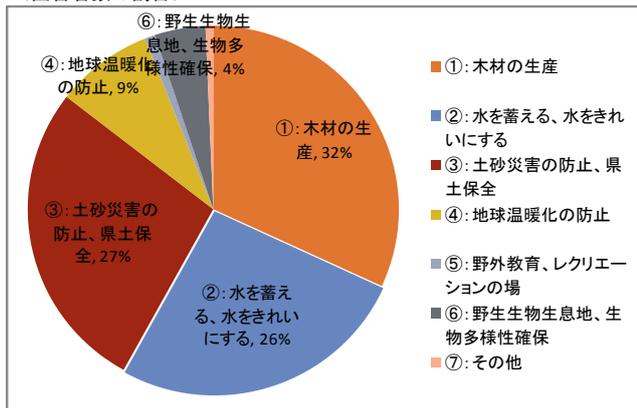
(複数回答)

【今後】

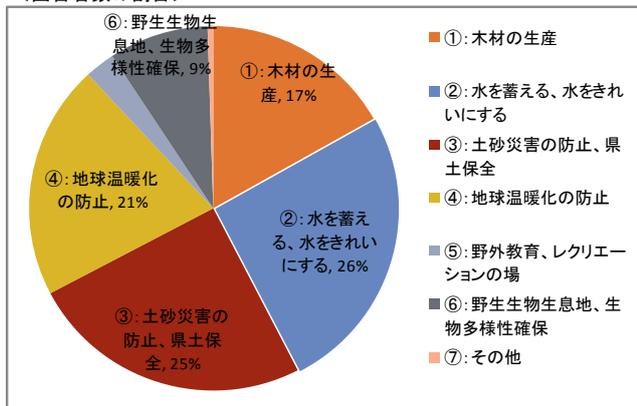
区分	回答者数	回答者数の割合
①: 木材の生産	236人	17%
②: 水を蓄える、水をきれいにする	358人	26%
③: 土砂災害の防止、県土保全	349人	25%
④: 地球温暖化の防止	291人	21%
⑤: 野外教育、レクリエーションの場	37人	3%
⑥: 野生生物生息地、生物多様性確保	123人	9%
⑦: その他	7人	0%
計	1,401人	100%

(複数回答)

<回答者数の割合>



<回答者数の割合>

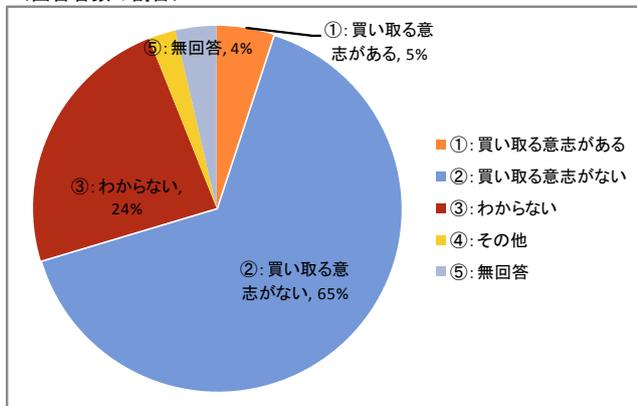


●Q2: 造林地立木の買い取りの意向について

「買い取る意思がない」と回答した人が65%を占めており、今後もセンターが継続して森林整備をしていく必要があると考えられる

区分	回答者数	回答者数の割合
①: 買い取る意志がある	25人	5%
②: 買い取る意思がない	326人	65%
③: わからない	118人	24%
④: その他	12人	2%
⑤: 無回答	18人	4%
計	499人	100%

<回答者数の割合>

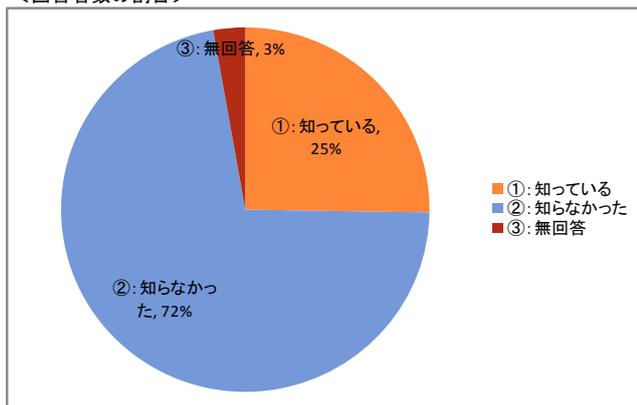


●Q3: 土地所有者の再造林の義務について

「再造林の義務を知らなかった」と回答した人が72%であった

区分	回答者数	回答者数の割合
①: 知っている	126人	25%
②: 知らなかった	359人	72%
③: 無回答	14人	3%
計	499人	100%

<回答者数の割合>

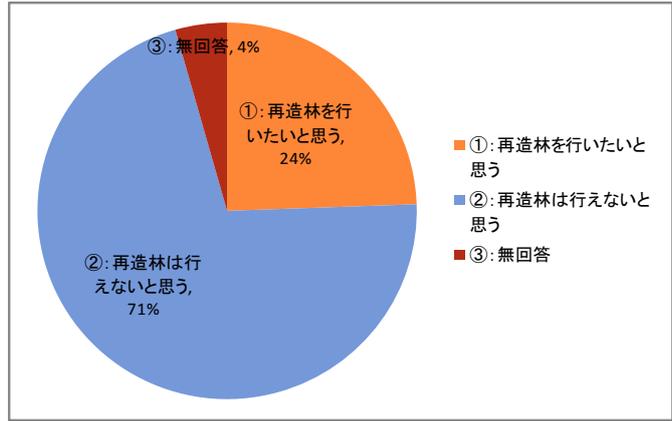


●Q4: 土地所有者の再造林の意向について

「再造林は行えないと思う」と回答した人が71%を占めており、再造林が不要となるよう整備方針を見直すべきであると考えられる

区分	回答者数	回答者数の割合
①: 再造林を行いたいと思う	122人	24%
②: 再造林は行えないと思う	355人	71%
③: 無回答	22人	4%
計	499人	100%

<回答者数の割合>

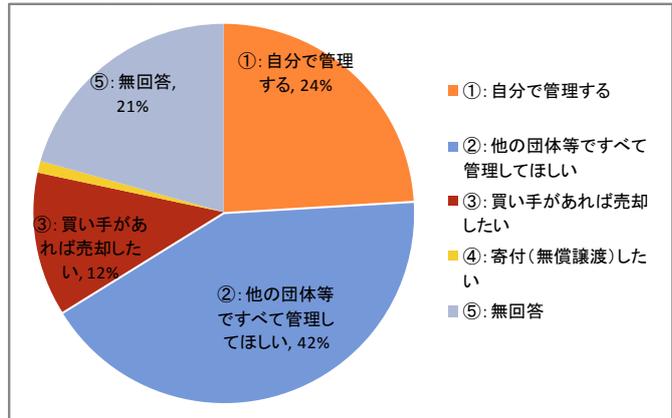


●Q5: 返還後の造林地の管理について

55%の人が、返還後の造林地を自分で管理する意思がないことから、返還後の造林地については、手入れの負担ができるだけかからないようにすることが望まれる

区分		回答者数	回答者数の割合
①: 自分で管理する		120人	24%
②: 他の団体等ですべて管理してほしい		210人	42%
希望する管理先	ア. 近隣の林家	0人	0%
	イ. 森林組合	95人	19%
	ウ. 林業事業者(森林組合以外)	1人	0%
	エ. 生産森林組合	9人	2%
	オ. 市町	3人	1%
	カ. 引き続き、センター(旧林業公社)	88人	18%
	キ. 県	5人	1%
	ク. その他	7人	1%
	ケ. 無回答	2人	0%
③: 買い手があれば売却したい		61人	12%
希望する売却先	ア. 近隣の林家	3人	1%
	イ. 森林組合	19人	4%
	ウ. 林業事業者(森林組合以外)	3人	1%
	エ. 生産森林組合	0人	0%
	オ. 市町	4人	1%
	カ. 引き続き、センター(旧林業公社)	11人	2%
	キ. 県	13人	3%
	ク. その他	4人	1%
	ケ. 無回答	4人	1%
④: 寄付(無償譲渡)したい		5人	1%
希望する寄付(無償譲渡)先	ア. 近隣の林家	0人	0%
	イ. 森林組合	1人	0%
	ウ. 林業事業者(森林組合以外)	0人	0%
	エ. 生産森林組合	0人	0%
	オ. 市町	1人	0%
	カ. 引き続き、センター(旧林業公社)	0人	0%
	キ. 県	0人	0%
	ク. その他	3人	1%
	ケ. 無回答	0人	0%
⑤: 無回答		103人	21%
計	499人	100%	

<回答者数の割合>

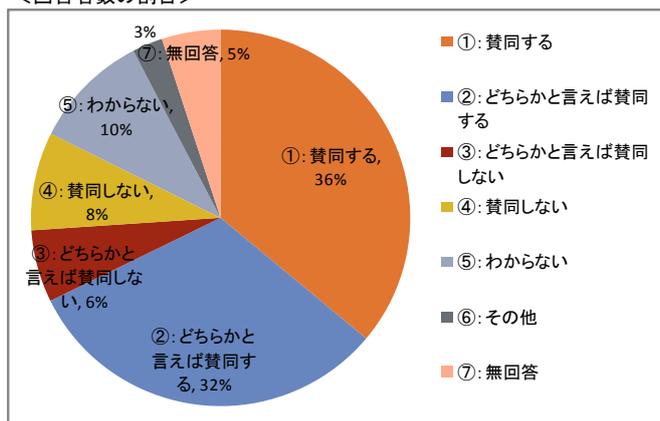


●Q6: 森林整備方針の転換について

センターの森林整備方針を「環境保全重視」とすることについて、「賛同する」、「どちらかといえば賛同する」が68%を占め、「賛同しない」、「どちらかといえば賛同しない」は14%にとどまり、環境保全重視の方針に多くの人が理解を示している

区分	回答者数	回答者数の割合
①: 賛同する	180人	36%
②: どちらかといえば賛同する	158人	32%
③: どちらかといえば賛同しない	31人	6%
④: 賛同しない	42人	8%
⑤: わからない	50人	10%
⑥: その他	13人	3%
⑦: 無回答	25人	5%
計	499人	100%

<回答者数の割合>



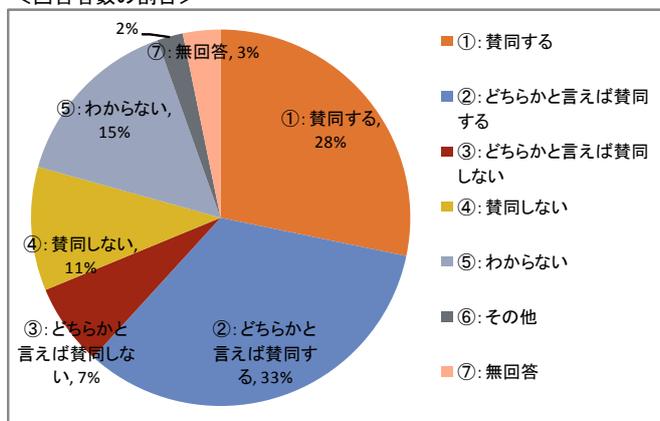
●Q7: 分収方式の見直しについて

「賛同する」、「どちらかといえば賛同する」の割合が61%を占め、「賛同しない」、「どちらかといえば賛同しない」は18%にとどまり、多くの人が理解を示している

残りの人にも理解が得られるよう、センターの経営改善を進めていくことが必要である

区分	回答者数	回答者数の割合
①: 賛同する	141人	28%
②: どちらかといえば賛同する	167人	33%
③: どちらかといえば賛同しない	35人	7%
④: 賛同しない	53人	11%
⑤: わからない	76人	15%
⑥: その他	11人	2%
⑦: 無回答	16人	3%
計	499人	100%

<回答者数の割合>



(※) 四捨五入の関係で、各区分の回答者数の割合の合計が100%にならない場合がある。